

平成26年度事業計画について

I 基本方針

身近なみどりの減少や水源林などの森林の手入れ不足等が続いている一方、みどりの保全是身近な生活環境の形成、水源環境の保全、生物多様性の保全等の点からますます重要性を増している。このよう中、当財団が進めるかながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、県や市町村との連携及び企業や県民などからの会費や寄付などの自主財源の確保に努めるとともに県民との協働によるトラスト緑地の保全や森林づくり事業の強化に取り組む。

II 事業の概要

1 普及啓発事業

(1) 広報普及活動

イベント等での普及啓発活動、機関誌「ミドリ」、WEBサイト、PRパンフレットや広告掲載も含めたあらゆる媒体による情報発信に積極的に努め、新たな財団会員の登録やトラストみどり基金への募金等を促進する。

また、自然観察会等の開催等により、参加者のみどりへの理解を醸成し運動への参加を促す。

ア トラスト緑地音楽会の開催、市町村イベント等での街頭キャンペーン、パネル展示、会員募集等

・新規会員登録 500人

イ 機関誌「ミドリ」（年4回）、トラスト運動パンフレット等の作成・配布

ウ トラストみどり基金募金箱及びトラスト運動普及啓発用グッズの作成・配布

エ WEBサイトの充実

オ 自然観察会等の開催

カ 関係団体との共催及び委託事業の実施

キ トラスト運動事務電算システム等の管理

ク みどりを守り、育てる活動を行う大学のクラブ、サークル等への支援

ケ かながわトラストみどり財団サポーターの活用

(2) 緑化協力金制度の運営

駐車場利用者の協力を促進するため、駐車場の機器整備、案内板等の整備等を行う。

2 地域緑化活動事業

(1) みどりの実践団体の育成

地域における緑化推進のため、市町村の協力を得て地域で自主的にみどりの愛護、創造等の活動を行っている団体等を発掘し、「みどりの実践団体」として登録して奨励金を交付する他、実践団体を対象とする交流会や研修会の開催等により活動を支援する。

・新規登録 10団体

(2) 樹木の配布

地域における緑化活動を支援するため、みどりの実践団体に苗木の配布を行う。

(3) 地域活動の育成

財団本部及び地区推進協議会等が各地区の特性を踏まえた普及啓発、緑化活動等を推進する。

ア 県民参加による植樹等の緑化推進、緑化思想の高揚促進

イ かながわのナショナル・トラスト運動の普及啓発、会員募集

ウ 緑化推進に係わる実践団体の育成指導

エ 自然観察会、園芸教室、緑の書道コンクール等の実施

(4) 相模原地域緑化事業

相模原地域におけるみどりの実践団体の育成、地域の緑化推進等の業務を（公財）相模原市まち・みどり公社に委託する。（平成25年度まで委託していた（公財）相模原市みどりの協会が平成26年4月1日に（公財）相模原市都市整備公社と合併し新法人となる。）

3 緑地保全事業

(1) 緑地保存契約

緑地所有者等と財団が10年間の賃貸借契約を締結する。また、所有者との話し合いを進め、保存契約地の拡大に努める。

・緑地保存契約締結緑地 葛葉緑地（秦野市）ほか5緑地

(2) 保存契約緑地等の維持管理

草刈り、枯損木の伐採、ゴミの除去等の管理や緑地の解説板、標識等の設置などを行う。

(3) 市町村の緑地等指定事業の助成

市町村等による緑地保全の取組を促進するため、市町村が緑地所有者と緑地の保全のための契約を行う場合、予算の範囲内で契約に必要な額の一部を助成する。

(4) 緑地保全コーディネーター

ア 小網代の森の保全利活用の調整

財団、県、市、有識者、保全活動団体等で構成する協議会を開催し、小網代の森の利用、保全対策、管理活動等について調整する。

・小網代の森保全利活用対策協議会の開催等

イ 自主的な保全活動への助成

トラスト緑地の3箇所のモデル緑地における保全活動を促進するため、自主的に緑地の管理活動、環境学習活動、自然再生活動等を行う団体に対してトラスト緑地保全支援会員制度による会費等を活用して助成を行う。

・対象緑地 小網代の森緑地（三浦市）、久田緑地（大和市）、桜ヶ丘緑地（横浜市）

4 県民参加の森林づくり事業

(1) ボランティア活動の推進

県民を対象に森林づくりボランティア体験、森林体験学習等を実施する他、ボランティア活動を実践する学校、団体等を対象に、用具の貸し出し、指導者の派遣等を行う。また、県内で活動する団体の研修会を開催する。

・ボランティア参加者数（年間） 10,200人

ア 多様な森林づくりボランティア活動の機会の提供

イ 初心者の森林づくり体験、小・中・高校生の森林体験学習等の促進

ウ 団体への用具の貸出、指導者の派遣

(2) 森林インストラクター

神奈川県森林インストラクターの養成及び資質向上のためのブラッシュアップ研修に取り組む。

ア 森林インストラクター派遣調整

イ 第14期養成講座の開催（平成26年度～27年度の2年間） 養成人数 35名

ウ ブラッシュアップ研修

(3) 森林づくりの普及啓発

県民の森林への理解を深め森林づくりへの参加を促進するため、森林、林業に関する普及啓発活動を行う。

ア 森林づくり日程表等の作成

森林に関する理解を深め、森林づくりへの参加を促すため、森林づくり活動日程表等の作成・配布を行う。

イ やどりき水源林の案内

やどりき水源林に「森の案内人」を配置し、訪問者に水源の森林づくりの解説を行うほか、水源林に関する情報提供等を行う。

ウ 成長の森の造成

かながわの森林づくりへの理解増進の一助とするため、赤ちゃんが誕生した家族から苗木の寄附を受け、県と財団が連携して森林づくりに取り組む。また、現地植樹会等により子どもと苗木の成長を実感できる機会を提供する。

・参加予定者 500名

エ 街頭キャンペーンの開催

横浜開港祭等で都市部の県民を対象とし、森林づくりへの理解を深めてもらう目的で、パネル展示や丸太切り体験等を行う。

オ 水源林の集いの開催等

県民との協働による森林づくり実行委員会に参加し、やどりき水源林の集いを開催して水源林への理解を促進するほか、水源林内での定着型ボランティア団体を支援する。

(4) 県民運動推進人材確保

県民参加の森林づくり事業の実施のため、財団に知識、技術を備えた人材を確保する。

(5) ポスト植樹祭事業

第61回全国植樹祭の開催理念を伝え広げるため、同植樹祭神奈川県実行委員会からの寄付金を活用し、ジュニアフォレスター教室等を開催する。

5 緑の募金事業

(1) 緑の募金

県、市町村、学校、企業、団体及び家庭の協力により、学校や街頭、職場、企業において募金活動を行う。

・募金目標額 25,000千円

(2) 地域緑化の推進

募金活動に参加した学校、緑化活動を実践する地域住民やボランティアグループ等が行う緑化や森林づくり事業を支援するほか、森林づくり体験を実施する。

ア 学校等の緑化推進の支援

イ ふれあい緑化の支援

ウ 丹沢の緑を育む集い等への参加

エ 森林づくり体験の実施

オ 国際森林デー記念イベントへの実施

(3) 緑の少年団の育成

緑の少年団の活動の活性化を図るため、県内で活動する6団体の交流会を開催し、情報交換、技術向上等に資する。

(4) 緑化運動コンクールの開催

小・中・高校生を対象とした緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール及び、対象に一般を加えた標語コンクール等を実施し、優れた作品を表彰する。

(5) 事業受託

(公社)国土緑化推進機構等から、業務を受託し、公共施設などの緑化及び森林づくり等に取組む団体に対し、公募を行い普及啓発や支援を行う。

III 評議員会、理事会の開催等

定款の規定に基づき、定時評議員会は、毎年1回、6月に開催する。定時理事会を2回、臨時理事会を1回、開催する。

資金調達及び設備投資の見込みについて

(事業年度 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

当期中に借入の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除去又は売却を含む。）の予定はありません。